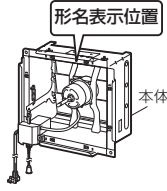




三菱 フィルターコンパクト 換気扇 (台所用) 20cm・25cm・30cm

1903876H22402



形名によって据付・取扱方法が異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。

■フィルターコンパクト換気扇 (台所用)

	形名	交換用フィルター	シャッター方式	運転方式	電気工事
交換用フィルタータイプ	EX-20LF7	P-20XF4	連動式	引きひも	AC 100V コンセント
	EX-20EF7	P-20XF4-S	電気式	埋込スイッチ	
	EX-25LF7	P-25XF4	連動式	引きひも	
	EX-25EF7	P-25XF4-S	電気式	埋込スイッチ	
	EX-30FF7	P-30XF4	連動式	引きひも・速調付	
	EX-30EF7	P-30XF4-S	電気式	埋込スイッチ	
再生形フィルタータイプ	EX-20LFH7-M	-	連動式	引きひも	
	EX-25LFH7-M			引きひも・速調付	
	EX-30FF7-M				
	EX-20EFH7-M		電気式	埋込スイッチ	
	EX-25EFH7-M				
	EX-30EF7-M				

取扱説明書 (据付説明書付)

お客様へ
ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

工事店様へ
据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。据付けは販売店・工事店様において実施してください。電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

据付説明 工事店様へ

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●高温 (室内温度40℃以上) になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所には据付けしない (火災の原因)。 ●改造しない (火災・感電の原因)。
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショートや感電の原因)。
浴室取付禁止	●浴室など湿気の多い場所や結露する場所には据付けしない (感電・故障の原因)。
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付ける場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように据付ける (漏電した場合発火の原因)。 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、感電や火災の原因)。 ●交流100Vを使用する (交流100V以外を使用すると火災や感電の原因)。 ●台所に据付ける場合は、調理時に安全に操作できる位置 (引きひもを確実にまっすぐ下に引ける位置) に据付ける (火傷・けがの原因)。

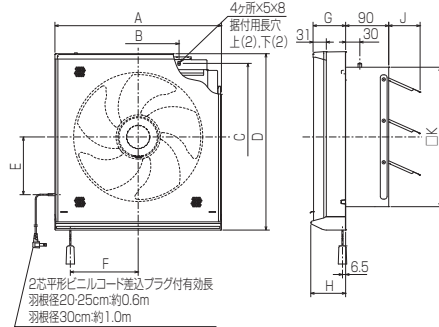
注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●天井には据付けしない (落下によるけがの原因)。 ●本製品は樹脂製 (可燃) のため、フード内には据付けしない (火災・故障の原因)。
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によるけがの原因)。 ●据付けの際は手袋を着用する (けがの原因)。 ●部品の据付けは確実に行う (落下によるけがの原因)。

お願い

- 下記の場所には据付けしないでください。
 - 温泉地
 - 塩害地域
 - 薬品工場
 - 養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
 - 業務用厨房
 - カーテン・ひもなどが触れるおそれのある場所
- 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。
- ダクト接続はできません。
- 天井・壁から70mm以上、コンロから1m以上、ガス給湯器横から50cm以上離れたところに据付けてください。
- 床面から1800mm以上のメンテナンス可能なところに据付けてください。
- 空気の流れが必要のため、換気扇は対面に出入口・窓などがあるところに据付けてください。
- 外風の強い場所・高气密住宅への設置には下記のような症状が発生する場合があります。
 - 羽根が止まったり逆転する
 - 停止時に本体のすき間から外風が侵入する
 - 外風でシャッターがばたつく
 - 換気しない

2.外形寸法図

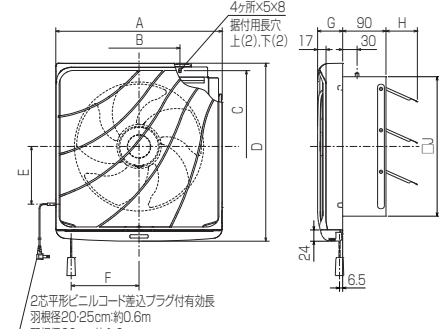
EX-20LFH7-M, 25LFH7-M, EX-30FF7-M, EX-20EFH7-M, 25EFH7-M, EX-30EF7-M



形名	A	B	C	D	E
EX-20LFH7-M	296	120	265	318	100
EX-20EFH7-M	-	-	-	-	-
EX-25LFH7-M	346	170	315	368	120
EX-25EFH7-M	-	-	-	-	-
EX-30FF7-M	396	220	365	418	140
EX-30EF7-M	-	-	-	-	-

形名	F	G	H	J	K	
EX-20LFH7-M	116	-	70	76.5	52	240
EX-20EFH7-M	-	-	-	-	-	-
EX-25LFH7-M	141	-	70	76.5	68	290
EX-25EFH7-M	-	-	-	-	-	-
EX-30FF7-M	166	-	85	91.5	85	340
EX-30EF7-M	-	-	-	-	-	-

EX-20LF7, 25LF7, EX-20EF7, 25EF7, 30EF7, EX-30FF7



形名	A	B	C	D	E
EX-20LF7	296	120	265	320	100
EX-20EF7	-	-	-	-	-
EX-25LF7	346	170	315	370	120
EX-25EF7	-	-	-	-	-
EX-30FF7	396	220	365	420	140
EX-30EF7	-	-	-	-	-

形名	F	G	H	J	
EX-20LF7	116	-	59	52	240
EX-20EF7	-	-	-	-	-
EX-25LF7	141	-	52	68	290
EX-25EF7	-	-	-	-	-
EX-30FF7	166	-	67	85	340
EX-30EF7	-	-	-	-	-

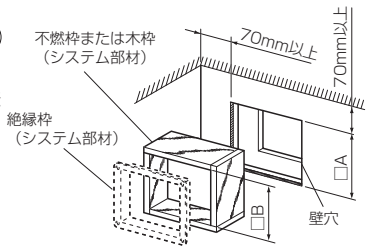
3.壁穴工事

壁穴・木枠の寸法

壁穴の寸法は木枠 (不燃枠) の厚さに応じ異なりますが板厚20mmの場合下表の寸法となります。

機種	単位 (mm)	
	A	B
20cmタイプ	290	250
25cmタイプ	340	300
30cmタイプ	390	350

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト据付の場合±5、木ネジ据付の場合 -g の範囲内で製作してください。



※木枠の室内側の面が壁面と同一面になるように据付けてください。パネル落下の原因になります。

○木枠作りのお願

板厚20mm以上で室外側下部に約5°の傾斜をつける…雨水浸入防止
木枠内の寸法が小さい木枠に据付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

壁穴位置

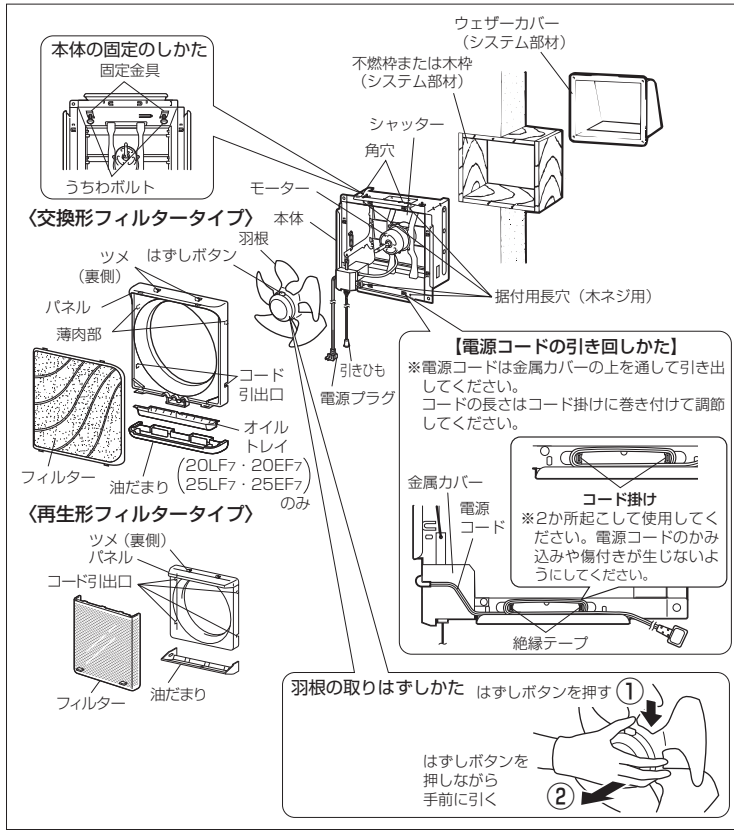
天井、壁から70mm以上離す。
必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。

4.電気工事

工事タイプ	LF7, FF7, LFH7-M, FF7-M	EF7, EFH7-M, EF7-M
コンセント工事 上記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。 ②換気扇内部にコンセントを設ける場合、別売システム部材のコンセント取付金具 (P-1X2) を使用します。コンセント取付金具の据付説明書を参照してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。
埋込スイッチ工事	本体に引きひもスイッチが付いていないので不要です。	本体にスイッチがないため操作しやすい場所に埋込スイッチ (システム部材) を設けてください。

5.据付方法

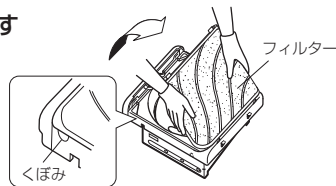
注意 ●据付けの際は手袋を着用する
けがの原因。



1 フィルター、羽根、パネルをはずす

(1) フィルターをはずす

- フィルター横のくぼみに手をかけ、手前に引いてフィルターを本体からはずす。



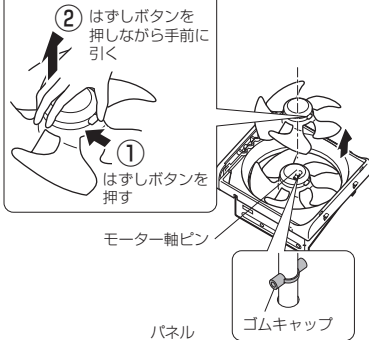
(2) 羽根をはずす

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

お願い

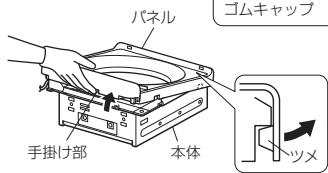
- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。シャッターが変形し動作しないことがあります。

羽根のはずしかた



(3) パネルをはずす

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。

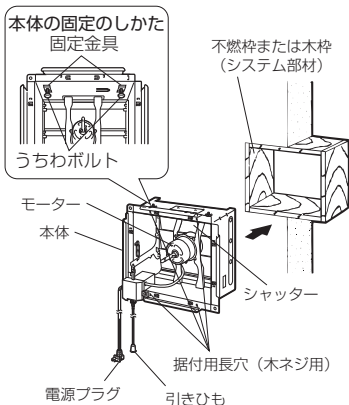


2 本体を据付ける

- 「うちわボルト」2本で確実に固定する。または市販の木ネジで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。
- 2.5m以上の高さに据付ける場合は、安全のためうちわボルトは使用せず、必ず市販の木ネジで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。

お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトおよび固定金具をはずしてください。
- 市販の木ネジは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のネジを使用してください。



3 コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

- ①左右の上下4か所のいずれか1か所から電源コードを引出す。
※上部から引き出す場合は、薄肉部をカッターナイフなどで切り取る。(切断部がエッジにならないように加工してください)
- ②電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けを起こして巻き付ける。
※電源コードを巻き付けた後は、コード掛けを倒して電源コードを固定してください。

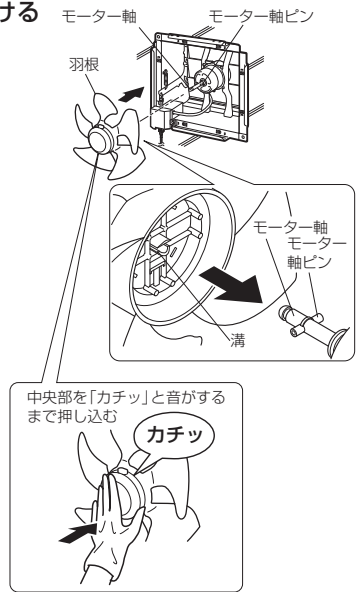
4 羽根、パネル、フィルターを取付ける

(1) 羽根を取付ける

- ①羽根は裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- ②羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。

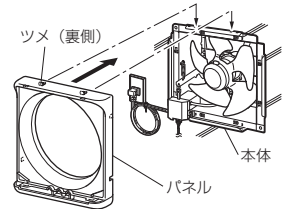
注意

- 部品の据付けは確実に進行落下によるけがの原因。



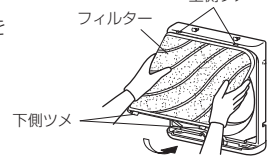
(2) パネルを取付ける

- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



(3) フィルターを取付ける

- フィルターは、上側のツメ(2か所)を差込み、次に下側のツメ(2か所)を確実にはめ込む。(交換形フィルタータイプのみ)



6.据付後の確認

- 据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)

	チェック項目	不具合の対策	チェック
試運転前	電源は100Vですか？	100Vに直します。(異電圧を印加すると製品が破損します)	
	本体の据付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ネジで確実に固定します。	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
	フィルターが確実に取付けられていますか？	フィルターを取付け直します。	
	羽根が確実に取付けられていますか？	羽根を取付け直します。	
試運転時	(引きひもスイッチタイプの場合)引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
	(壁スイッチタイプの場合)スイッチと本体の動作は合っていますか？	結線を直します。	
	羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、羽根・パネルなどの部品を取付け直します。	
	シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

取扱説明

お客様へ

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

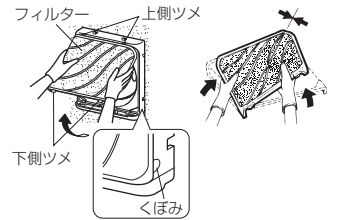
警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切や電源プラグの抜き差しはしない。爆発・引火の原因。 電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない。火災・感電の原因。
水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。
分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> 改造や工具を必要とする分解はしない。火災・感電・けがの原因。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。
ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際、電源プラグの刃および羽の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。火災の原因。 交流100Vを使用する。交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。発煙・発火、感電、けがの原因。〈異常・故障例〉本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。

注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> 引きひもを急に引っばったり、斜めに引っばらない。引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。
接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> 運転中は、羽根の中に指や物を入れない。けがの原因。
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> 羽根や部品の取付けは確実に行う。部品の落下によりけがの原因。 お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。感電・ショートして発火の原因。 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

〈交換形フィルタータイプの場合〉

1 フィルターを交換する

- ① フィルター横のくぼみに手をかけ、手前に引いてフィルターを本体からはずす。
- ② 古いフィルターは半分に折って捨て、新しいフィルターを取付ける。
 - 上側のツメ(2か所)を差込み、次に下側のツメ(2か所)を確実にはめ込む。



2 オイルトレイを交換する

- ① 油だまりの両端を持って、傾けないように注意してはずす。
- ② 油だまりの中のオイルトレイを交換し、油だまりを元通りに取付ける。
 - 油だまり両側のツメをパネル下側の引っ掛け部に差込み、油だまりの中央部を押して確実にはめ込む。



〈再生形フィルタータイプの場合〉

1 フィルターをパネルよりはずす

ツマミをいったん押し上げ、手前に引っ張る。

2 フィルターはお湯を流しながらタワシなどで洗う

3 水分をふき取り乾燥させ、取りはずすと逆の順序で組立て取付ける



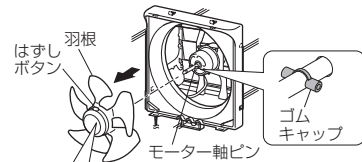
各部品のはずしかた

1 羽根

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押ししながら手前に引く。

お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。



2 パネル

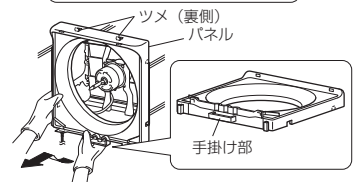
- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。



3 本体

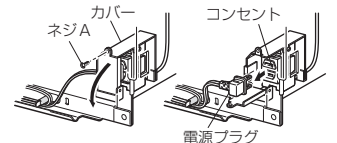
お願い

- 本体が木ネジで壁に固定されている場合は、本体を壁からはずさないでください。壁側のネジ穴が破損し、製品落下の原因。

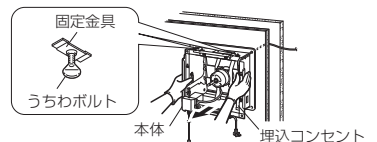


〈内部コンセントがある場合〉

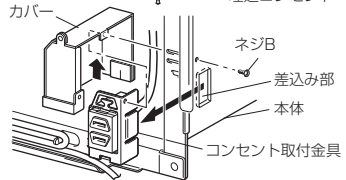
- ① 換気扇の電源プラグを抜く。ネジAを取りはずし、カバーを開ける。コンセントから電源プラグを抜く。



- ② 本体を手前に4cm程引き出す。「うちわボルト」をゆるめ、本体を手前に4cm程引き出す。



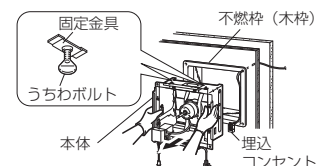
- ③ コンセント取付金具とカバーをはずす。本体側面のコンセント取付板の固定ネジBをはずす。屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。



- ④ 本体をはずす。不燃枠(木枠)から本体をはずす。

〈本体の近くにコンセントがある場合〉

- 電源プラグをコンセントから抜き、本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠(木枠)からはずす。



使用方法

- LF7・LFH7-Mタイプ
引きひもを引くことに「入」↔「切」します。
- EF7・EFH7-M・EF7-Mタイプ
壁スイッチで「入」↔「切」します。
- FF7・FF7-Mタイプ
引きひもを引くことに「強」→「弱」→「切」に切り替わります。

お願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用しないでください。(製品の寿命が短くなる場合があります)
- 炎をあげて調理をしないでください。変形したり、溶けて穴があく場合があります。(交換形(樹脂製)フィルタータイプ)
- 引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。(引きひもスイッチタイプ)斜めに引いたり急に力を加えますと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。
- 調理時には、高温になった鍋やフライパン、炎などに手や衣類が触れる場合があります。危険ですので、引きひもの操作はしないでください。(引きひもスイッチタイプ)

お手入れ

換気扇が汚れてきましたら約2~3か月に1度を目安として、清掃してください。

警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
- 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。

フィルター・オイルトレイのお手入れ

フィルター・オイルトレイが汚れてきましたら、新しいフィルター・オイルトレイ(システム部材)と交換してください。

形名	交換用フィルター・オイルトレイ(システム部材)	
EX-20LF7	P-20XF4	(フィルター5枚、オイルトレイ5個入)
EX-20EF7	P-20XF4-S	(フィルター2枚、オイルトレイ2個入)
EX-25LF7	P-25XF4	(フィルター5枚、オイルトレイ5個入)
EX-25EF7	P-25XF4-S	(フィルター2枚、オイルトレイ2個入)
EX-30FF7	P-30XF4	(フィルター5枚)
EX-30EF7	P-30XF4-S	(フィルター2枚)

清掃のしかた

■パネル・羽根

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かしてください。

■本体

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぶきしてください

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のまま使用しないでください）
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください）シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうさんの薬剤、クレンジャーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色や故障の原因になります）
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。
- モーター軸ピンのゴムキャップをはずさないでください。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。（モーター軸にサビが発生し、羽根がはずせなくなるおそれがあります）

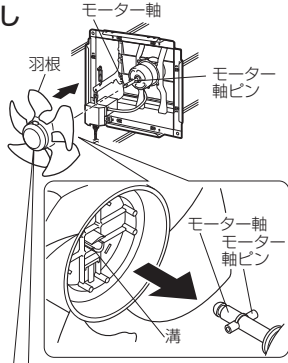
お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■部品の落下や故障を防ぐため以下の点検をしなから組立てる。

- ①埋込コンセントがコンセント取付金具に確実に取付けられているか？（内部コンセントがある場合）
- ②電源コードに傷はないか？
- ③シャッターの開閉がスムーズにできるか？
- ④本体、羽根、パネルが確実に取付けられているか？

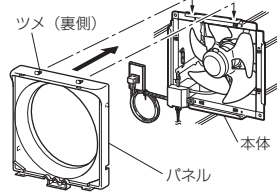
- 羽根は裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。



注意

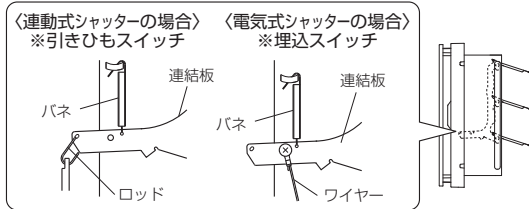
- 羽根や部品の取付けは確実にを行う部品の落下によりけがの原因。

- パネルは、パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付けてください。



お願い

- うちわボルトに緩みがなく、本体が確実に固定されているか確認してください。
- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認してください。
- パネルを軽く引っ張ってはずれないことを確認してください。
- 引きひもにほつれ・緩みなどの異常がないか確認してください。



- ⑤電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。

..... 故障かな?と思ったら

以下のような症状があれば点検してください。点検しても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がる	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？ うちわボルトがゆるんでいませんか？	取付け直します うちわボルトが木枠にしっかりあたるように締めます
シャッターが正常に動作しない	本体が変形していませんか？（据付うちわボルトの締めすぎ） 本体、シャッターが変形していませんか？	うちわボルトをゆるめ本体の変形を直します 販売店または工事店へ確認します

..... アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いいたします。
1.お預け（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに際してお客様よりご提供いただいた個人情報、本製品の購入に製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お預け（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合は、当社以外の第三者に個人情報をお貸付・お譲渡することはありません。①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。②法令等の定められた規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お預けをさせていただきます窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱方法

受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 FAX (0573) 66-5659 (有料)

■ご相談対応 平日(土・日・祝及び休業日以外) 9:00~12:00 13:00~19:00
上記時間帯以外のご相談(受付のみ)
●三菱電機お客様相談センター
フリーダイヤル **0120-139-365** (無料)
フリーダイヤルをご利用いただけない場合は TEL (03)3414-9655 (有料)

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
<http://www.melsc.co.jp>
携帯電話・PHSの場合 **TEL 0570-01-8634** (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)
空メールの送り先: fc8634@melsc.jp
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

仕 様

電圧100V

形名	給排	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
EX-20LF7	排	12	14.5	432	450	32.5	34	2.4	
EX-20EF7	排	13	15.5	432	450	32.5	34	2.6	
EX-25LF7	排	21.5	24.5	672	672	34.5	34.5	2.6	
EX-25EF7	排	22.5	25.5	672	672	34.5	34.5	2.8	
EX-30FF7	排	強	35	39	1002	1002	37.5	37.5	3.3
		弱	23.5	27	738	720	30	29.5	
EX-30EF7	排	36	40	1002	1002	37.5	37.5	3.5	
EX-20LFH7-M	排	12	15	510	546	33.5	35.5	2.6	
EX-25LFH7-M	排	21	24.5	774	798	34	35	2.9	
EX-30FF7-M	排	強	33.5	38.5	1104	1104	38.5	38.5	3.4
		弱	23.5	26.5	834	780	31	29.5	
EX-20EFH7-M	排	13	16	510	546	33.5	35.5	2.8	
EX-25EFH7-M	排	22	25.5	774	798	34	35	3.1	
EX-30EF7-M	排	34.5	39.5	1104	1104	38.5	38.5	3.6	

※測定方法はJIS C 9603による

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を起算とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz		定格周波数による
湿度	20℃		JIS C 9803から引用
湿度	65%		据付説明書による
設置条件	標準設置		「仕様」による

■負荷条件

想定時間	1年間の使用時間	換気時間*	換気時間/年
前年	2410時間/年	2410時間/年	2193時間/年

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ご臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

形名

お買上げ年月日

お買上げ店名(住所)(電話番号)

年 月 日

()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号